

品目：いちご（おとめ心）

平成 22 年度版

月旬	1 上中下	2 上中下	3 上中下	4 上中下	5 上中下	6 上中下	7 上中下	8 上中下	9 上中下	10 上中下	11 上中下	12 上中下	目標収量：2～2.5 トン 秀品：70%以上																										
栽培体系													<ul style="list-style-type: none"> 株数：6000～6900 本 株間 22～24cm 条間 20cm～30cm 3間ハウス 4ベット 施肥例 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施肥時期</th> <th rowspan="2">肥料名</th> <th rowspan="2">施用量</th> <th colspan="3">成分</th> </tr> <tr> <th>N</th> <th>P</th> <th>K</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月下旬</td> <td>堆肥</td> <td>1～1.5 t</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">9月中旬</td> <td>いちご専用 苦土石灰</td> <td>200kg 90kg</td> <td>20</td> <td>24</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>BM ようりん</td> <td>60kg</td> <td></td> <td>12</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施肥時期	肥料名	施用量	成分			N	P	K	8月下旬	堆肥	1～1.5 t				9月中旬	いちご専用 苦土石灰	200kg 90kg	20	24	20	BM ようりん	60kg		12	
	施肥時期	肥料名	施用量	成分																																			
N				P	K																																		
8月下旬	堆肥	1～1.5 t																																					
9月中旬	いちご専用 苦土石灰	200kg 90kg	20	24	20																																		
	BM ようりん	60kg		12																																			
病害	<p>萎黄病、炭疽病の予防で土壌所毒を実施する。炭疽病・うどん粉病</p> <p>秋のうちうどん粉病と害虫防除を徹底する。ハダニ類・アブラムシ類・アザミウマ類</p>																																						
栽培上のポイント	<p>1. 親苗管理 ランナー20～30本（株）</p> <ul style="list-style-type: none"> 炭疽病、萎黄病の発生を避ける為、施設での採苗し、土壌消毒は必ず行う。 育苗畑基肥：窒素成分で6～10kg ウイルスフリー苗を入手次第灌水チューブを設置し、水の飛散による病害拡大を防止する。 灌水は活着を促すため、定植から一週間程度はこまめに行う。 花と古葉を撤去して株を充実させる、一度に3枚以上は除去しない。 温度管理、ランナー発生を促すため、冬期間は低温をしっかり当てる。 <p>2. 育苗管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 中耕、除草はランナー発生前に行う。 晴天時は遮光を行い高温による株の消耗を防止する。（高温期）掛けたままには注意する。 追肥は生育を見て1～2kg/10aを1～2回行い、株の草勢を強めに管理する。 炭疽病、萎黄病の被害株を発見したら直ちに除去し、伝染を防ぐ。 <p>3. 採苗</p> <ul style="list-style-type: none"> 9月中下旬に行い、あまり大きいもや根が老化したもの、病気の恐れのあるものは除去する。 <p>4. 定植準備</p> <ul style="list-style-type: none"> 前作がいちごの場合は必ず土壌消毒を実施する。 定植は9月15日～25日までに進行。 冬季に根張りが進み土中に潜り込むので、やや浅植えとする。 <p>5. 定植後の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 定植後7～10日は活着促進を図る為、株元へ十分灌水する。活着後はいっぴつ状態を見ながら灌水を行う。あまり控えると生育遅延となる。 温度地温を20前後に管理して根張りを促進し、気温は25以上にならないよう、株の消耗を抑える。 秋期にアブラムシや芽枯病の防除を行う。 <p>6. 冬期の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 芽整理が遅れると小玉の原因となるので、12月中～下旬に行い、それが終わったら <p>7. 保温管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 保温開始前は十分灌水する。 5以下低温遭遇時間は1月下旬までに700時間とし、3月下旬までに950時間前後となるよう調整する。 その年の天候によるが、積極的保温、蒸しこみは1月中下旬を目安に開始する。（600時間）3月上旬開花を目指して保温する。 皮膜資材カーテンは11月下旬までに設置する。冷え込みが厳しい場合は二重カーテンで低温遭遇時間を抑制する。 3重カーテン（トンネル等）を準備できる方は設置して、蒸しこみで確実にいちごが起きるようにする。 <p>8. 開花前～開花後の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 日中は25～30、夜間は10を目標に管理する。 ミツバチを手配し、開花直前から開花始めにハウス内に搬入する。 開花前にうどん粉病、アブラムシ類、ハダニ類、コナジラミ等、アザミウマ類の防除を行う。ミツバチに影響の少ない薬剤を選ぶ。 受粉が確実に行われるように、17以上の高めの管理が望ましい。湿度が高いとハチの働きが悪くなるので換気に注意する。 <p>9. 生育ステージごとの温度管理の目安</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>日中</th> <th>夜温</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出蕾～開花</td> <td>27～28</td> <td>8～10</td> </tr> <tr> <td>果実肥大期</td> <td>23～25</td> <td>8以上</td> </tr> <tr> <td>成熟期</td> <td>20～25</td> <td>8以上</td> </tr> </tbody> </table>													日中	夜温	出蕾～開花	27～28	8～10	果実肥大期	23～25	8以上	成熟期	20～25	8以上															
		日中	夜温																																				
出蕾～開花	27～28	8～10																																					
果実肥大期	23～25	8以上																																					
成熟期	20～25	8以上																																					

平成____年度 いちご栽培暦

JA庄内みどり

月旬	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	目標収量:おとめ心低温カット栽培(10a)2~2.5t			
	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下				
栽培体系													10a 6,000~6,900本	10a施肥基準 堆肥:1~1.5	成分	
													3間ハウス4ベット2条(8条) 4間ハウス5ベット2条(10条)	いちご専用	200kg	N:20 P:24 K:20
													条間20~30cm 株間22~25cm	苦土石灰	90kg	
病害														B M ようりん	60kg	P:12

<p>例</p> <p>記入欄</p> <div style="border: 1px solid black; height: 200px; margin-top: 10px;"></div> <p> :定植 :収穫 :開花 長期株冷入庫日、夜冷処理開始日: </p>	<p>栽培体系 : 低温カット・夜冷・株冷</p> <p>うね幅: _____ cm 株間: _____ cm 条間: _____ cm 条数 _____ 条</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">全量施肥</th> <th style="width: 75%;">肥料名</th> <th style="width: 20%;">現物数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr> <th>追肥</th> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p>支店名: _____</p> <p>生産者氏名: _____</p>	全量施肥	肥料名	現物数量													追肥		
全量施肥	肥料名	現物数量																	
追肥																			